NPOさんさんくらぶ 2018年度 田んぼ活動報告

　２０１８年度の田んぼ活動は、猛暑や秋の台風にもめげず、たくさんのメンバーが力を合わせて楽しく取り組まれた。

　特に東京都大田区の「森の学校」の子どもたちと親たちが加わってくれて、子どもたちの元気な声のあふれるさんさん田んぼが出現した。

　田んぼ耕作と並行して「里山アート」にも挑戦し、カカシ作りや「縄文のビーナス」をモデルにした陶芸や段ボールのお城づくりを行った。田んぼのエネルギーを吸収して、創作活動に結び付けることができた。これからも里山の田んぼを大切にして、ユニークな活動を生み出していきたい。

【2018 年度の記録】

■４月１日（日）　　野草てんぷらの会　王瑞瑞さん送別会
■５月４日（金）　　田起こし
■５月１３日（日）　代掻き
■６月２日（土）　　田植え準備
■６月９日（土）　　田植え第１日
■６月１０日（日）　田植え第２日
■６月１５日（日）　田んぼ検分
■６月３０日（土）　ホタル観賞
■７月２９日（日）　田んぼ検分
■８月２６日（日）　カカシ作り
■１０月７日（日）　稲刈り第１日
■１０月８日（月／体育の日）　稲刈り第２日
■１１月４日（日）　脱穀もみ摺り
■２０１９年１月２０日（日）　さんさん餅つき
■２月２４日（日）　合歓の里どんど焼き
■３月３１日（日）　合歓の里にお城を作ろう＋野草てんぷらの会

■４月１日（日）晴れ　野草てんぷらの会　王瑞瑞さん送別会

10 時に天野さんの軽トラに水や資材を積んで田んぼへ。机やストーブの準備。天野夫人がセリやヤブレガサやシイタケやタケノコを用意してくれる。野草を集め、火起こし、野菜を切って衣に付けて揚げていく。快晴で里の山桜も満開、気持ちよく飲み、食らい、おしゃべり。中国から東洋大学に留学して日本の里山をテーマに研究、合歓の里やさんさんくらぶも調査して修士論文をまとめた王瑞瑞さんもやって来た。中国の話あれこれ。瑞瑞さんはもうすぐ安徽省に帰る。

▲王瑞瑞さんとそのだ

■５月４日（金）晴れ　風は強い　田起こし

気持ちよく晴れた。肥料を積んで合歓の里へ。天野さんの耕運機で畑の畝を起こしてもらう。ジャガイモの雑草取り。お弁当を食べ、薪を拾い火を焚いてコーヒーを入れる。牛糞と化成肥料を畑に播く。青空と新緑、カエルの声と飛び交う塩辛トンボ、いい気分。

■５月１３日（日）曇りのち雨　代掻き

水を積んでトラックで合歓の里へ。森の学校の母子２組６名が来ていた。親子は天野さん指導で初めての代掻き。おそるおそるだった子どもたちはすぐに慣れて一生懸命やった。

■６月２日（土）晴れ　田植え準備

天野さんと耕運機を引っ張って田んぼを掻き回し、やっと田んぼらしくなった。名付けて「病み上がり新田」。さんさん田の草をすきこんでいると倉品先生と学生二人が来る。斎藤父子はゆったり田植え、しばらく援農して一緒に植える。昼は‘帝京食堂’の炊き込みご飯と自称ペペロンティーノ。学生に手伝ってもらって牛糞８袋をさんさん上下の田に播く。

■６月９日（土）晴れ　30℃を超える　田植え第１日

11:15 倉品さんの謡で田植えスタート。上の小さい田を学生も参加して植える。斎藤・花谷で目印紐を引く。昼には終わって休息。帝京組のうどんや炊き込みご飯を食べる。大きな田は明日のメンバーのために取っておくことにして佐藤新田の田植えを手伝い（無事完了）２時半には上がる。

■６月１０日（日）曇りのち小雨、午後強雨　田植え第２日

森の学校のメンバー大人 9 人、子ども 11 人が渡辺先生の先導でやってくる。倉品隊は学生 3 人のみで食堂に専念。まずは森の学校にピザの生地捏ねをやってもらう。11:10 から儀式。おひげが作務衣に烏帽子をかぶって祝詞を上げ、みんなで祈りのシュプレヒコール。メイン田んぼは斎藤氏と目印の紐の両端を持って張り、一歩一歩下がりながら植える。はじめはおそるおそるだった子もだんだん大胆になり、植え方もよくなる。親たちもしっかりやってくれた。12 時半まで頑張るが東側隅が三角形に植え残る。雨も次第に本降りになって来たので引き上げて雨避けテントの下でお昼。熱いスープが美味しく、具沢山のピザも好評。

▲水の少ない田んぼで老いも若きも揃って田植え

■６月１５日（日）曇り夕方晴れ間　田んぼ検分

山越えルートで合歓の里へ行って田んぼを見る。しっかり植わっていて安心。その後の雨で水も十分に溜まり、すっかり田んぼらしくなった。周囲の緑が美しい。

■6月30日（土）晴れ　風　ホタル観賞

夜７時半に一本杉に集合。サトケンファミリーと沖崎ファミリーを連れて合歓の里へホタル探勝。グランドの先には例年のように出ていた。田んぼではほんのチラホラで寂しかったが、草の上を這うホタルもいてみな満足。一本杉に上がって解散。

■7月29日（日）曇りのち晴れ　田んぼ検分

台風はさほどのことなく西の方へ。田んぼに行く。稲はしっかり伸び、雨で水も入った。溜池も水を湛え、天野夫人が種をまいたという大賀ハスが伸びている。田んぼの傍らのさんさんファームではサトイモやカボチャがすくすくと成長していた。

▲伸びた稲

▲畑のカボチャ

▲田んぼのトンボ

■8月26日（日）晴れ　猛暑　カカシ作り

一本杉公園に集合して田んぼへ。森の学校（子ども７名、大人６名と杉崎ファミリーで合歓の里へ。倉庫前の日蔭にビニールシートを敷いて講師の田宮義寛さんを紹介。真竹を主軸に笹竹を横に渡し、古着を着せ、顔を黒ペンキで描く…という手順で、次々かかしアートが出来ていく。他方で火起こし。チキンラーメン 10 個と野菜でラーメンが出来てみんなに振舞う。さんさん田の周りに、出来た案山子８基を立てて案山子巡りをする。なかなかいい眺めだ。講評して写真を撮って２時過ぎには解散。

■１０月７日（日）晴れ　暑くなる　稲刈り第１日

10 時過ぎ田んぼに集合。稲刈りの説明をしてポツポツ開始。倉品組は火起こしとラーメン作り。まず三角田の東端、台風で倒れているところを刈る。昼はおにぎりとラーメンを食べしばらく雑談。午後は稲束縛り、今年は藁が腐って使えず、ビニールひもで結わえたのでかえって楽だった。三角田の半分まで刈り終わる。

■１０月８日（月／体育の日）曇り　稲刈り第２日

11 時近く、森の学校（友達組も入れて総勢 18 人）、光橋ファミリー3 人集合。田んぼの実りのお話とやり方の説明。刈る人―運ぶ人―束ねる人の連係プレーを強調する。これがうまく機能して三角田を駆り進み、さらに上の田も若いお父さんたちの活躍で昼までには刈り上げる。

畑組も５人参加、里芋と落花生の収穫の後は、束ねを手伝い、ラーメン作りも仕切ってくれる。美味しくできてみんなに振舞う。残りの稲をハザに架けて２時には上がり、お互いを紹介し合って記念撮影。

■１１月４日（日）　曇り時々小雨　脱穀もみ摺り

9 時半、多摩センターのバスターミナルで森の学校の 2 家族と合流して日大三高までバス。天野さんの畑を抜けてお宅へ。その他のメンバーも合流して脱穀を始める。子どもたちがせっせと働き、11 時には脱穀が終わり、モミで 90 ㌔。籾摺りに入り、これは男の子が頑張る。女の子たちに縄の綯い方（指でひねっていくやり方）を教える。皆上手に編む。昼過ぎにはこれも上がって玄米 70 ㌔。雨を避けながらおにぎりを食べる。手締めをして 1 時すぎには終わり、玄米をさんさんに運ぶ。

■２０１９年１月２０日（日）晴れ　さんさん餅つき

さんさんで８時半からストーブ２台の火起こし。お米の蒸しと湯沸かしを始める。臼を出し机を並べて準備。エコストーブにも点火。９時バス組の森の学校やくらさわ組や子連れの旧スタッフが次々とやって来る。子どもたちに火の番を頼む。9 時半には早くも搗き始め、9：50 には最初のお餅が出来上がる。お餅は元園長の指揮の下、母親たちがどんどん作る。菊池克行氏（初期のさんさん親父）の音頭で乾杯。仁科氏が七輪を出して焼き魚の準備。飲むおやじたちを橋の上のテラスに誘導して、魚を焼くいい匂いのもとで日本酒パーティ。11 時半に「陶芸作品コンテスト」を通告、投票カードを配布、子どもたちも積極的に鑑賞して投票。12 時半には最後の臼となり、おひげが締めの 5 本を叩いて終了。投票を締め切って 1 時から開票、断然トップは坂根コータロー君の遮光土器風、2 位は沖崎文音の可愛いお地蔵さん、3 位には天野夫人と坂根母。講師の田宮さんの作品を賞品に選んでもらう。三々五々帰って行く中、おやじ組は月桂樹の下で、七輪囲んでサバを賞味しながら歓談。玄関先のさんさん女子組にも焼いたサバを届けて好評。片づけを進め 4 時過ぎには原状に戻る。参加者は総勢７０人に達した。

■2月24日（日）晴れ　合歓の里どんど焼き

ポリタンクや肥料、食材などを積み込んで合歓の里へ。大人と子ども 32 人が集合。まず天野さんの刈っておいてくれた竹や枯れ木を運んで点火、たちまち燃え上がる。昨年の案山子たちをお焚き上げ。餅やマシュマロを枝に付けてあぶる。ファミリー組でピザ捏ね、倉品さんのピザ窯で焼く。なかなか美味しい。コーヒーを忘れたので笹の葉を茶代わりに煎じて飲む。子どもらは畦道を駆け回って楽しそう。泥田に靴を取られた子もいて靴の大捜索。焚き火が落ちた後、灰の上を歩く「火渡り」をして、メガホンを回して自己紹介。今年の予定を話して自由解散。森の学校から１年間の感謝のしるしにとピカピカの稲刈鎌３丁をいただく。

■3月31日（日）曇り昼から晴れ　合歓の里にお城を作ろう＋野草てんぷらの会

さんさん園舎から２回に分けて田宮講師と荷物を合歓の里へ運ぶ。集まったのは大人 21 名、子ども 21 名、スタッフ 8 人。11 時に城づくりスタート。子どもたちは田宮さんの指導で段ボールを繋げてトンネルづくり。積み上げた天守閣に「しゃちほこ」も付ける。大人組は天プラ素材収集。ナズナ、カンゾウ、フキ、ギシギシ、タンポポ、シダ系、タラの芽など。天野さん持参のセリ、ヤブレガサ、菜の花、それに買い込んだシイタケ、ナス、カボチャ、ウィンナー。12 時過ぎに城づくりは一段落してお昼。天ぷらをどんどん揚げて美味しく食べる。子どもらは自由遊びでオタマジャクシを掬ったり合歓の木に登ったり。2 時過ぎ片付け、集合写真を撮って 2 時半過ぎ三々五々帰途に就く。トイレは結構利用があって設置の必要を確認できた。